



# 議会だより

平成30年2月1日発行  
 発行 青森県上北郡横浜町議会  
 〒039-4145  
 青森県上北郡横浜町字寺下35  
 電話 (0175) 78-2111  
 F A X (0175) 78-2118  
 編集 議会広報編集委員会

## 横浜町消防出初式



平成30年1月7日(日)

● 第4回定例町議会 ..... P 2  
 審議した主な内容

● 一般質問 4人登壇 ..... P 4  
 (小川和男議員・橋本円議員・野坂浩二議員・沖津正博議員)

● 第1回臨時町議会 ..... P 7  
 審議した主な内容

# 平成29年 第4回定例町議会

12月定例町議会は12月8日(金)から12日(火)までの5日間の会期日程でしたが、日程を1日繰り上げて閉会しました。

初日に町長の提案理由の説明があり、平成29年度一般会計補正予算、横浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案など、報告1件、承認1件、条例案2件、組合規約の変更1件、協定の一部変更1件、工事請負契約の一部変更2件、補正予算5件、合計13案件を審議し原案のとおり承認、可決しました。

また、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案など、条例案3件、補正予算案4件の合計7案件が追加提案され、原案のとおり可決しました。

一般質問には、小川和男議員、橋本円議員、野坂浩二議員、沖津正博議員の4人が登壇し、横浜町の畜産業の振興に関する考え方についてや、これからの菜の花プラザの経営について、天候不順による農作物収穫遅れに対する農家支援について、横浜町メガソーラー計画の信ぴょう性を問うなど多方面にわたり論戦を展開しました。

## 審議した主な内容

### 専決処分 (議案原案可決)

◎対物事故に係る損害賠償の額の決定について

本年7月30日に発生した、町所有車両による対物事故に係る損害賠償について、賠償額が確定したため、地方自治法第180条第1項及び町長が専決処分できる軽易な事項の指定について第1号の規定により、専決処分したものです。

### 議案審議 (全議案原案可決)

◎横浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員についてその養育する子が2歳に達する日まで育児休業をすることが特に必要と認められる場合を定める等、所要の改正を行う

うため提案するものです。

◎横浜町消防団条例の一部を改正する条例

横浜町消防団団員の定年を63歳から65歳へ引き上げるための改正を行うため提案するものです。

◎下北地域広域行政事務組合規約の変更に係る協議について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第286条第1項の規定により、下北地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更のため、規約を変更することに係る協議するため提案するものです。

◎定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について

十和田市及び三沢市との間において平成24年10月4日に締結した定住自立圏の形成に関する協定

について、新たに連携する圏域内への移住の促進及び結婚活動の支援に関する取組を追加するほか、所要の変更をするため提案するものです。

◎工事請負契約の一部変更について

平成29年6月22日付けで本契約を締結した公産第1号横浜町トレーニングセンター改修工事について、請負契約の一部を変更する契約を締結したため、横浜町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案するものです。

### 工事名

横浜町トレーニングセンター改修工事

### 工事金額

変更前 1,026,000円  
変更後 1,035,180円

**契約の相手方**

上北郡横浜町字家ノ前川  
目30番地14

株式会社 工藤組 むつ横  
浜町営業所  
所長 外井 新一

**◎工事請負契約の一部変更について**

平成29年8月10日付け  
で本契約を締結した町機  
強第1268-4横浜町  
地区(百目木漁港)漁港  
施設機能強化工事につい  
て、請負契約の一部を変  
更する契約を締結した  
ので、横浜町議会の議決  
に付すべき契約及び財産  
の取得又は処分に関する  
条例第2条の規定により  
提案するものです。

**工事名**

横浜町地区(百目木漁港)  
漁港施設機能強化工事

**工事金額**

変更前

81,000,000円

変更後

87,750,000円

**契約の相手方**

むつ市赤川町14番地10

杉山建設工業株式会社  
代表取締役 杉山 幹彦

**追加提案**  
(全議案原案可決)

◎横浜町職員の給与に  
関する条例の一部を改  
正する条例

青森県人事委員会から  
の職員の給与等に関する  
報告及び勧告に基づき、  
職員の給料月額並びに勤  
手当の額を改定するた  
め提案するものです。

◎横浜町特別職の職員の  
給与と支給条例の一部を改  
正する条例

一般職の職員等の給与  
改定に伴い、町長等の期  
末手当の支給割合を改め  
るため提案するものです。

◎横浜町議会議員の給与  
及び費用弁償に関する条  
例の一部を改正する条例  
一般職の職員等の給与  
改定に伴い、町議会議員  
の期末手当の支給割合を  
改めるため提案するもの  
です。

**《平成29年度 補正予算》**

**◎一般会計**

歳入歳出それぞれ6,073万1千円を追加し、予算総額を39億8,153万6千円とする。

**\*歳入\*(主なもの)**

- ・ 財政調整基金繰入金 5,008万9千円増額
- ・ 北上北広域事務組合繰越金に伴う返還金 675万3千円増額

**\*歳出\*(主なもの)**

- ・ 除雪作業委託料 1,700万円増額
- ・ 新1年生用机椅子購入費 100万円増額

**◎特別会計**

・ 国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ287万3千円を減額し、予算総額を8億9,769万2千円とする。

・ 介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ288万3千円を追加し、予算総額を7億8,930万1千円とする。

・ 後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ242万1千円を追加し、予算総額を5,548万4千円とする。

・ 水道事業特別会計

第3条予算の収益的収入及び支出の補正で、営業外収益で受託工事負担金を53万円増額、支出では営業費用で配水及び給水費修繕費を53万円増額。

## 一般質問



小川 和男 議員

**質問1**  
**横浜町の畜産業の振興**  
**に関する考え方を確認**  
**したい**

横浜町の地域畜産の振興・発展に50数年、貢献・寄与してきました大豆田共同放牧組合が、運営資金の不足により来年度より放牧業務を終了するとのことです。放牧場は1〜2年、牛を放牧しなければ耕作放棄地状態となり、牧草地としての回復は難しくなります。これまでの夏山冬里方式は、横浜町の畜産農家には極めて有効であり、その堅持は町内唯一の放牧場が存続することでのみ可能です。横浜町の畜

産業の維持・振興・発展の為に、放牧場の堅持が必要不可欠であり、その放牧場には150万円以上の支援が必要となります。町長の横浜町の畜産業の振興に関する考えをお伺いするとともに、支援に對する決断をお願いします。

**答弁(町長)**  
**将来のある畜産業を確立**  
**するために出来る限りの**  
**支援をしていきたい**

酪農も含め畜産農家の高齢化が進んでおり、今後の当町の畜産業の衰退が危惧されるところであります。しかしながら地域農業を維持・発展させるためには、担い手の確保及び育成することで、所得を確保し畜産業の活性化につながっていくものと考えております。そのためには、畜産農家の更なる努力と、将来のある畜産業を確立するために町としては出来る限り

の支援をし、畜産振興を図っていく所存であります。

## 一般質問



橋本 円 議員

**質問1**  
**これからの菜の花プラ**  
**ザの経営について**

平成10年度に農林水産省の補助事業で建設された菜の花プラザも20年を迎えようとしています。今まで色々な行事、歴史を作り上げてきました。その菜の花プラザの支配人が今年度で退職することですが、次の支配人をどのようにするのかは、これから役員の方々が決める事だと思います。横浜町のシンボルであります菜の花プラザ支配人の選択は大変

大事なことと思います。①今のところ、次の支配人を育てていないように見えますが、これからどのようにするのか。②菜の花プラザも20年を経過し、修理しなければならぬ所もあるようですが、今後の予定はどのようなになっているのか。

**答弁(町長)**  
**菜の花プラザの今後の**  
**発展のため努力してい**  
**きたい**

これまで、下北半島の玄関口としての優位性を積極的に活かし、町づくりの一つとして、町の情報発信、地場産品の販売、地域経済の活性化を図ってきたところではあります。経営状況を見ますと、大きな赤字はありませんが赤字になった年は無く、健全な経営がなされてきました。支配人につきましては、先般9月に退職しましたが、現在は元支配人に務めていただいております。今

後とも、菜の花プラザの健全な経営を図るため人材の育成に努めてまいりたいと思っております。

また、建物も20年経過ということで、これまで屋根の塗装、雨漏りの修繕や機器の更新を行ってきましたが、将来は大規模な改修が予想されますが、その際は交付金を利用しなければならぬと考えております。

菜の花プラザは町の経済の中心を担うものであり、今後の発展のため努力する所存であります。

**質問2**  
**百目木地区農業集落排水**  
**管路及び道路補修計**  
**画について**

平成8年に竣工された百目木地区農業集落排水も20年以上も経ち、色々な所を修理などしているようですが、まだ管路はしていません。管路を埋めた町道もマンホールが浮いていたり、町道のカタマーで切った所の幅が広がっ

たりしています。

①百目木地区農業集落排水の管路による町道の修繕は、どのように考えているのか。

②百目木地区農業集落排水の管路の点検は、やっていると思うが管路の交換等はしなくてもいいのか。やるとすればいつ頃の予定か。

### 答弁(町長)

### 経営戦略を策定し、適切な管路等の更新について検討していきたい

町道の修繕についてですが、平成28年度においてマンホール周りの道路の沈下対策は実施しておりましたが、これまで管路埋設に係る沈下対策については、欠損部の穴埋め及び小規模な補修等に対応してきたところであります。今後においては欠損部の穴埋めはもちろんのこと現地の状況を調査し、広範囲な舗装の打ち替え等を行い、歩行者の安全な通行を確保してまいります。

管路の交換についてありますが、不同沈下について目視点検を行ったところ、健全であるという結果が得られておりますが、農業集落排水事業については、保有する資産の老朽化に伴う大量更新の到来など財政見通しは厳しい状況が予想されます。

このようなことから町では、既存施設の長寿命化、投資試算及び財源試算の将来予測方法、経営健全化及び財源確保の具体的方策等について、平成30年度において中長期的な経営の基本計画となる「経営戦略」を策定予定であります。町としましては、その計画に基づき状態把握を行い、劣化等の進行状況を踏まえ、将来にわたっても農業集落排水事業を安定的に継続することが可能となるように、適切な管路等の更新について検討してまいります。

## 一般質問



野坂 浩二 議員

### 質問1 天候不順による農作物収穫遅れに対する農家支援について

本年は、8月の低温・日照不足のため、稲作において収量・品質低下が懸念されましたが、9月の天候が持ち直したため最悪の事態は免れたようです。ところが11月に入り初積雪が平年より多かつた事、降雨や低温等、天候不順の影響で長いも・ゴボウの収穫作業に入れず、このままの状況が続けば、収入が得られず農協への支払いができないのではないか心配をしています。

町独自の支援ができません。

いものか。また、する考えはあるのか。

### 答弁(町長)

農作物の生産には補助金を交付しており、支援については考えていない

長いも及びごぼうの収穫につきましては、11月30日現在、悪天候によりごぼうは1名の方が収穫しておりません。また、長いもにつきましては、65%より収穫がなされておりません。

なお、収入に関しては、秋掘りと春掘りの代金は春掘りされた年の12月に精算されることになっており、秋掘りしてもすぐに代金が入ってくるものではありません。

農作物の生産に関しまして各種補助金を交付しており、支援につきましては現在のところ考えておりません。農家の皆様方におかれましては、JAの前渡金等を利用してほしいと思います。

### 質問2

平成29年下半年における灯油の高騰と支援について

11月に入り急に寒くなり、平年より寒い日が続いております。灯油の本格的な需要期にはいり、灯油も毎週のように値上がりしている現状です。

平成19年度に当町におきまして、福祉灯油購入助成事業として、灯油の高値により困っている高齢者世帯等への灯油購入費用の一部を助成した経緯があります。

今回も支援できないか。また、どのような場合に対応するのか。

### 答弁(町長)

灯油価格と隣接市町村の動向を注視し総合的に判断していきたい

今年度における灯油価格の状況につきましては、前年との比較では上昇傾向にあります。11月末現在では79円台と例年の価

格で推移しているところ  
であります。

この支援策につきましては、灯油価格が原油価格等の変動により著しく高騰した場合に伴い、冬期間における経済的負担の軽減を図るための制度であり、今後とも灯油価格と隣接市町村の動向を注視し総合的に判断してまいりたいと考えております。

## 一般質問



沖津 正博 議員

### 質問① 横浜町メガソーラー計画の信ぴょう性を問う

ドイツのフォトヴォル  
ト社が行う横浜町メガ  
ソーラー計画は、国内最  
大級のソーラー計画とし

て当初は2016年着工  
予定でしたが、大幅に計画  
が遅れています。町は町有  
地500haを30年間賃  
貸する契約（地上権設定  
契約）を結び最大の協力  
者となっております。地権  
者の中には契約を破棄し  
た方もおりますが、改め  
て用地の確保（地上権設  
定契約者数や面積、賃料  
の一時金受領者数、エリ  
アの確定）状況や計画の  
内容、東北電力の接続回  
答の時期や今後のスケ  
ジュールについてお知ら  
せください。

また、事業計画には、過  
大な東北電力接続負担金  
問題や、3年以内に稼働  
しないと売電期間を20年  
から15年に短縮するペナ  
ルティ問題など予定外の  
難題が課されています。

具体的な豪雨対策や森  
林伐採量、造成工事計画は  
どのようになるのか。民家  
との距離や台風対策、景  
観対策、住民説明などが  
どのように行われ、地域  
社会に受容可能なのか。

町は最大の地権者とし

て契約した以上事業計画  
に責任があると考えます  
が、事業参画への見直し  
も検討すべきではないか  
と思います。町の対応  
を求めます。

### 答弁(町長)

#### 横浜町再生可能エネ ルギー基本計画に基づき 進めて行く

現在、広域機関による、  
「東北北部エリアにおけ  
る電源接続案件募集プロ  
セス」に参加しており、そ  
のスケジュールに即して  
接続検討が進められてお  
ります。今後は平成30年1  
月下旬に接続検討結果の  
第2回目の回答があり、平  
成30年の2月上旬から3  
月下旬にかけて入札が行  
われ、その後入札が通れば  
再接続検討が開始されま  
す。再接続検討結果の回答  
が平成30年7月下旬に予  
定されており、その後最終  
的な負担金の意思確認を  
経て、契約、電源接続案件  
プロセスの結果公表とな  
ります。

また、賃料の支払いにつ  
いては契約書上、地上権設  
定後となっておりますが、  
度重なる手続きの延長  
により、町や共有地などの  
大規模な借地面積を除き、  
一般の地権者の方に対し  
て一時金として年間賃料  
の10%が支払われており、  
11月末現在で、支払件数  
159件、支払面積153.  
4856ヘクタール、支払  
額は3,551,710円  
と報告を受けております。

また、契約を破棄したこ  
とにより、周辺の土地が飛  
び地のような状況となっ  
たため、事業サイドからの  
契約解除の願いもして  
いるとのこと。

環境アセスメントにつ  
いては、事業者は自主アセ  
スメントを予定しており、  
具体的にはこのアセスメ  
ントの他、造成による雨水  
対策については、県への林  
地開発許可申請の中で  
チェックされ許可を得な  
ければならない事項にな  
ります。

本事業は、今後において  
も、横浜町再生可能エネ

ギー推進協議会で検討が  
図られ、横浜町再生可能エ  
ネルギー基本計画に位置  
付けた上で、同計画に基づ  
き進めていくこととして  
おります。

### 質問②

#### 畜産牧場への支援を求 める

去る11月に横浜町和牛  
生産改良組合より、町への  
放牧業務への支援を求め  
る要望がありました。大豆  
田共同放牧利用組合の放  
牧業務の停止に伴い、農家  
有志が放牧の継続を求め  
て新たな組織を立ち上げ、  
放牧への維持管理費に対  
し、町へ支援を求めたと  
伺っております。

継続的な畜産振興と新  
組合への支援について町  
の対応を求めます。



### 答弁(町長)

農地の有効活用を図りながら、生産拡大を進めるため、出来る限りの支援をしよう

酪農及び肉用牛生産は、地域における雇用の創出につながっているほか、自然環境の維持や景観の保全などの多面的機能を持ち備え、町民の生命と健康を物質面と精神面から支えるものであることから、今後とも農地の有効活用を図りながら、その生産拡大を進めていかなければならないと思っております。ところで、町としては出来るだけの支援をしていく所存であります。

### 質問3

学校給食費の負担軽減を求める

将来の町の姿を考える時、少子化と子育て支援は重要課題と考えます。町はこれまで支援策を打ち出し、努力されてきたことに感謝申し上げます。

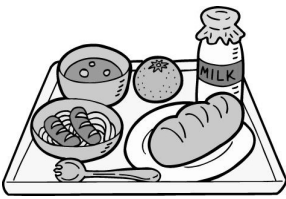
さらに、学校給食の負担軽減に取り組む考えがなにか伺います。

### 答弁(町長)

各種委員会で検討した結果、学校給食費の負担軽減は行わない

昨年度から少子化・定住化対策検討委員会並びに教育委員会でも検討した結果、「現在も家庭の状況に応じて就学援助費で無料となつていたり、食事の費用負担であり、一律に無料化・軽減化することは適当ではない」ということでまとめられたところです。

よつて、いまのところ学校給食費の負担軽減については行わない予定としております。



### 第1回臨時町議会

臨時町議会が1月22日(月)に開催され、1案件を審議し原案のとおり可決されました。

〈審議した内容〉

◎平成29年度横浜町一般会計補正予算

### 《平成29年度 補正予算》

#### ◎一般会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ1,157万4千円を追加し、予算の総額を39億9,811万1千円とする。

〈主なもの〉

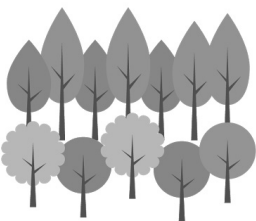
- \*歳入\* ・ 財政調整基金繰入金 1,157万4千円増額
- \*歳出\* ・ 庁舎追加改修工事設計業務委託料 500万円増額

### 知事を囲む懇談会

11月7日(火) ホテルクラウンパレス青森において、県側から三村知事、関係部長等、県町村議会議長会より全町村議会事務局長及び各町村議会事務局長が出席し懇談会が開催されました。

懇談会では毎年持ち回りにより各郡より県への要望及び自由討議がありました。上北郡からの要望は、おいらせ町からの「おいらせ町太平洋沿岸海岸防災林造成事業の早期完成について」でありました。

県より、太平洋沿岸では35ヘクタールの被害があり、防災工事が終了したところから植林を実施しているとの回答がありました。



### 東通原子力発電所視察

11月16日(木)に、議員9名、町職員2名で東通原子力発電所を視察しました。

まず、東通原子力発電所金澤定男所長から挨拶があり、発電所の概要説明、敷地内断層調査について説明をしていただきました。

その後、淡水貯水槽、断層調査現場、大容量電源装置、防波堤等発電所構内の見学をしました。



## 陳情

・「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

提出者：新潟県村上市三之町1-1

全国森林環境税創設促進議員連盟  
会長 板垣一徳

(採択)

・若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

提出者：青森市中央2丁目6-6

全日本年金者組合青森県本部  
執行委員長 千代谷 邦弘

(採択)

## 請願

・「大豆田共同放牧利用組合の突然の放牧業務の停止における町内黒毛和牛飼養農家の思いと、願いと、横浜町への助成のお願い」

提出者：上北郡横浜町字中畑27番地2

横浜町和牛生産改良組合  
組合長 秋田 陽一

紹介議員：小川和男 議員

石橋勝大 議員  
飯田弘志 議員  
橋本 円 議員  
沖津正博 議員

(採択)



横浜小学校の生徒31名が議会を傍聴しました



横浜町消防出初式での議長挨拶

## 《議員活動報告》

11月16日(木)

\* 東通原子力発電所視察見学

11月28日(火)

\* 総務教育常任委員会

11月29日(水)

\* 産業民生常任委員会

12月1日(金)

\* 議会運営委員会 (第4回定例町議会)

1月12日(金)

\* 議会運営委員会 (第1回臨時町議会)

1月18日(木)

\* 広報編集委員会



## 議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。

多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化の一つです。

12月定例会の傍聴者は横浜小学校生徒等46人でした。次の定例会は3月2日～3月8日(第1回定例議会)までの7日間の予定です。

なお、一般質問は3月5日の予定です。みなさんの傍聴をお待ちしております。(詳しくは議会事務局まで)

みなさんの声をお聞かせください

町民の皆さんに親しまれる紙面づくりを目指し、ご意見、ご要望(傍聴された方のご意見も合わせて)お待ちしております。

広報編集委員会  
TEL78-2111 内線430・431